

在校生インタビュー Vol.3

看護師をめざしたきっかけは？

母が妹を出産する時に立ち合い、生命の誕生に感動したことや、家族が入院した際に支えてくれた看護師さんの優しさに触れ、「自分も人の役に立ちたい」という思いが芽生えたのがきっかけです。



准看護科と看護科の学びの違いは？

准看護科は「基礎をしっかり」ですが、看護科は「患者さんに合った看護を考え実践する」なんです。自分たちの考えや意見を出し合って、学んでいく点に違いを感じます。あれこれクラスメイトと考えていく作業は、とても楽しいですよ。

看護科の先生はどんな感じ？

学生の話をきちんと聞いてくれるし、世間話もよくするので接しやすいです。

授業では、「みんなが思っていることを言ってくれていいから」と、発言しやすい雰囲気になってくれたり、事例や体験談を多く話して下さるので、看護計画を考える際に、とても参考になっています。



面白いなと思った授業は？

視野の狭い高齢者と同じ状況をつくって、どうやったら上手くコミュニケーションを図るかを考えたり、身体拘束をして、この状態における患者さんの苦痛や思いを追及する授業は、「確かに！」と気付く点が多くて面白かったです。

本校で良かったと思うことは？

准看護科のクラスメイトがそのまま進学しているので顔見知りが多いのがいいです。グループワークでも意見を言いやすいし、勉強とかで分からないことがあっても、「ここ、どうだっけ？」と、すぐ周りの人に聞ける人間関係なのもいいですね。

学生紹介 医療専門課程全日コース1年 Hさん(20代)

入学前に勉強が大変だと聞き、「ついていけるかな…」という不安があったと話すHさん。そこで、まず2年間で資格取得ができる准看護科でがんばってみて、そこから先は、また考えようと思ったとのこと。

看護科への進学については、「准看護科では初めて学ぶことばかりであることに加え、テストや課題、実習と毎日大変でしたが、看護を学んでいくうちに、緊急時に対応できるようになりたいと思うようになったので。」と気持ちを語って下さいました。また、「看護師免許取得後は助産師免許も取得したいと考えています」と、将来の夢も話して下さいました。

